

国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産大学校教育職員（生物生産学科）公募要領

- 職名・人員：助教1名（任期の定めのない常勤職員、63歳定年）
- 所属：生物生産学科 資源増殖学講座
- 専門分野：有用魚介類の餌料開発、消化生理と増養殖管理
- 主な担当授業科目：
水族栄養学、水産増殖化学のほか、水産と生物、基礎生物学、応用生物学、実験・実習科目等を必要に応じ担当
- 応募条件：
 - 博士の学位を有すること（採用予定日までに取得可）
 - 上記専門分野の他、腸内フローラやオーミクス解析研究の応用も視野に入れて養殖餌料の教育・研究に取り組める方
 - 学科の教育研究活動に熱意を持って取り組むとともに、学会活動、社会貢献等の対外的活動にも取り組めること
 - 心身ともに健康であること
 - 日本国籍を有していない場合は、採用予定日までに日本国内で就労するために必要な在留資格を取得すること
- 採用予定日：平成31年4月1日
- 提出書類：※書類は原則としてすべてA4用紙でご提出下さい。
 - 履歴書（市販の用紙に写真を貼付し、メールアドレス並びに自宅又は携帯電話の番号を記載） 1部
 - 学位証明書（学位記コピー可） 1部
 - 研究業績目録（著書、原著論文、総説、その他に分け、新しい順に記載） 1部
 - 主要な学術論文・著書の別刷り（5件以内、コピー可） 各1部
 - これまでの競争的資金の獲得状況（代表と分担を分けて記載） 1部
 - これまでの研究内容の解説及び今後の研究に関する抱負（1600字以内） 1部
 - 教育に関する実績（あれば）及び今後の抱負（1600字以内） 1部
 - 推薦書又は推薦をいただける方の氏名及び連絡先（可能であれば） 1部
 - その他選考の参考となる資料（任意） 1部
 - 日本国籍を有しない方は、在留資格を確認できる書面の写し 1部
- 応募締切：平成30年12月25日（火曜日）必着
- 選考方法：書類審査による選考のほか、必要により面接を実施することがあります。
（※面接の日時や内容等については直接本人に通知しますが、面接のための旅費等は応募者の負担とします。）
- 応募書類の提出先：
水産大学校校務部管理課 課長補佐 長岡忠勝
〒759-6595 下関市永田本町二丁目7番1号
（注）封筒表面に「生物生産学科教員応募」と朱書きし、簡易書留郵便又は宅配便で送付して下さい。
- 問合せ先：
水産大学校 生物生産学科長 須田有輔
TEL：083-286-5111（ext. 453） FAX：083-286-7435 E-mail：suda@fish-u.ac.jp
- その他：
 - 本校は農林水産省を主務省とする国立研究開発法人水産研究・教育機構の人材育成部門を担う高等教育機関であり、教育職員の労働条件及び待遇等は、職員就業規則、同給与規程等によります。詳細についてはお問い合わせ下さい。
 - 本校の教育職員の教育・研究業績は、大学改革支援・学位授与機構の教員資格審査の対象となっています。また、日本技術者教育認定機構（JABEE）より教育プログラムの審査を受けています。
 - 後日、健康診断書の提出をお願いすることがあります。

- (4) 応募書類は原則として返却いたしません。選考終了後は、本校が責任をもって破棄します。なお、応募書類の返却を希望される場合は、書類提出時に書面により申し出て下さい。
- (5) 提出して頂いた書類は、採用審査のみに使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。
- (6) 選考結果は平成31年1月末日までにお知らせします。
- (7) 本校及び学科の詳細についてはホームページ (<http://www.fish-u.ac.jp/>) をご参照ください。
- (8) 本校は男女共同参画を推進していますので、女性の積極的な応募を期待しています。